

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松佐一
第110号 2002年9月10日

愛労連青年協

ソフトボール大会

とき 10月14日(祝) 9:00開会
ところ 木場南公園グランド(飛鳥村)
参加費 1チーム 3,000円
問い合わせ・申し込みは、愛労連事務局まで



切実な声が寄せられた事業者との懇談会

東名阪 トレーラー追突事故 運賃ダウン 走らなきゃ食べていけない



会社に戻ってからの洗車作業、もうクタクタ

8月10日未明、東名阪自動車道でトレーラー運転手が居眠りをし、帰省フラッシュで渋滞中の車の列に突っ込み5人が焼死、6人がケガという大事故が起きました。休憩を一度も取らずに9時間も走行しての事故でしたが、トラック労働者の過酷な労働実態について同乗取材しました。なお、取引先との関係配慮し、社名などについて伏せさせていただきます。

危険と隣り合わせの長時間労働 睡眠時間犠牲の上に成り立つ物流

タンクローリー
同乗ルポ

8月10日未明、東名阪自動車道でトレーラー運転手が居眠りをし、帰省フラッシュで渋滞中の車の列に突っ込み5人が焼死、6人がケガという大事故が起きました。休憩を一度も取らずに9時間も走行しての事故でしたが、トラック労働者の過酷な労働実態について同乗取材しました。なお、取引先との関係配慮し、社名などについて伏せさせていただきます。



夜明けの23号線を朝日を浴びながら東へ走る清水さん
多くのトラックで、すでに道路は渋滞気味

休憩より早くうちに帰って 明日に備えたい

3時15分、四日市の基地に到着。積み込み作業の始まるまで暫し車中で待機。基地内には、続々とトレーラーが並び始め、4時15分から積み込みが一斉に始まる。1回目の配達先となる豊川市のスタンドへ走りまわります。到着すると休む間もなく荷下ろし作業(スタンドへの給油)を始めますが、作業は決して楽なものではなく、給油ホースを次々とつなぎ変え、何度モトレーラーの上へ上り下りをするなど額からは汗がしたたり落ちます。再び四日市へ戻

働くルールの確立は待たなし

14時前に豊橋市内のスタンドに到着。荷下ろしを始める。荷下ろしを始めた。スタンドのタンクに入りきらない。スタンドの要請もあり、ガソリンが売れて減っていくのをひたすら待つことに。「たまにこんな事も」と清水さん。2時間45分待つ荷下ろしを終えました。

8月22日、愛労連と社保協が呼びかけて開催した「訪問介護事業者懇談会」には県下から23事業者27名が参加しました。参加者は圧倒的に女性、この分野で女性が頑張っていることを強く感じさせられる懇談会となりました。事業所の多くが小規模

で、小さい方から6割が常勤者3、4人、登録ヘルパー10人、20人というのが平均的な姿です。懇談会では「家事援助では赤字」など介護報酬の大幅な引き上げとともに「身体介護と家事援助の区分を無

かつかないため「移動時間に30分かけて30分のケアのところもある。登録さんには行かせられない」「土日や早朝夜間は常勤でカバー」など数人の常勤職員に負担が集中していることも報告されました。

事業者の切実な声を自治体キャラバンへ 介護事業者懇談会を開催

くして欲しい」という声が多く出されました。「80人が研修を受けに来たが就職した人はゼロ」という事業所もあり、条件を大幅に改善しないとヘルパー不足は解決できません。また、介護保険では移動時間に点数

行政に対する要望では、「ヘルパーやケアマネの研修」制度変更に伴うパンフやパソコンソフトの援助などが出され、来月の自治体キャラバンではこれらの要求と事業者アンケートの声を市町村に伝えます。

これが清水さんの1日!

この勤務を3日間続け、6日間は朝6時頃からの勤務をこなし、再びこの勤務に入るサイクルで働き続ける。

19:00	就寝	
0:10	起床	
0:45	出勤・運行前点検など	
1:10	会社出発	104km 走行
3:15	四日市出荷基地着(待機)	
4:15	積み込み	
4:45	出発	92km 走行
7:03	豊川市内GS着・荷下ろし	
7:56	出発	100km 走行
10:00	四日市出荷基地着・積み込み	
10:30	出発(前に10分休憩)	83km 走行
13:48	豊橋市内GS着・荷下ろし	
14:05	待機	
16:50	荷下ろし	
17:10	出発	14km 走行
17:45	会社着・洗車や給油など	
18:29	退社	

会社に帰り給油や洗車、報告書を書き終え、タイムカードを押したのは18時29分。じつに17時間44分もの勤務でした。清水さんはこの日が3日目の勤務でしたが、前日までの退社とは異なり、16時台、過酷な勤務を強靱な体力と集中力で続ける清水さんにただ脱帽。組合のない職場ではさらに過酷な運行が当たり前ではないかと言つ。人間らしく安全に働くためのルール確立は待たなしです。

夏休み、長野へ
県知事選の応援に
行った。脱ダムだ
けではなく福祉や森林予
算の増額などの実績を知
ることができた。「県民
のための奉仕者として、
県民に仕える仕事をする
ことを約束したい」愛知
にもこんな知事が欲しい
日八ム・東電・三井物
産、各業界のトップ企業
の不正が発覚した。東電
社長は「前に隠したのが
尾を引いて今日に続い
た」と言つ。荒木会長は
日本経団連の「企業行動
憲章の見直し」委員長を
辞任した。企業の不正隠
べい体質も問題だが告発
を二年も隠した原子力保
安院は「通報者の保護の
ため」東電の協力が得ら
れなかった」と言い訳し
た。「国も東電も同じ穴
のむじな」と福島県佐藤
知事は怒りをあらわにし
た。牛肉買い取り制度の
問題で農水省は「業者が
悪意を持つとは想定しな
かった」と責任を回避し
ている。原子力では告発
者は法律で守られる。一
方、雪印の事件を告発し
た倉庫会社は農水省から
処分をつける。また協和
香料では全員が解雇され
た。「慚愧(ざんき)に
耐えない」のは連合の笹
森会長。事故隠しの当時
東電労組の委員長だつ
た。5日のラジオ番組で
も、「こういう時は労働組
合が大事ですよ。でも
東電の労働組合は弱いか
ら」と言われる始末。企
業でも公務でも「民主
経営でも労働組合のチェ
ック機能が重要だ。(k)

本音が出し合える交流大切に

魅力ある組合活動をめざして 全国一般小太郎漢方分会



矢田川花火での交流会には管理職や家族も招かれました

「わずか11人の小さな分会ですが、全員が何らかの仕事を分担し合っている。組合活動をすすめていまして」と語るのは全労連・全国一般労働組合愛知支部小太郎漢方分会の分会長である松本利一さん。「営業なので、とにかくみんなが集まれるように努力しています」と福本隆明書記長。

小太郎漢方製薬(株)は本社を大阪に置き、工場を大阪・石川、支店や営業所を札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡に展開する漢方製薬メーカーです。従業員は約270名で多くは同じ全労連傘下の化学一般労連に加盟しています。昨年4月まで小太郎漢方分会は、化学一般と連携を

取って要求提出と団体交渉を統一のテーマで行ってききましたが、会社側の退職金削減提案に対する考え方の違いなどから独自の交渉を持つようになりました。

要求を大切に
デメリット乗り越え



松本分会長と福本書記長

「11人という小さな組織だけで本場に要求が前進するの、分会は営業所だけだから工場など他の要求を取り上げられないことなどへの危惧もありましたが、企業内のたたかいは限界があるも地域に出る社会的にたたくてこそ未来が開けることや、これまでは取り上げられなかった一人ひとりのきめ細かな要求をストリートに出せることなどから独自交渉の道を決断しました」と言います。

今年の春闘では、打ち切りとなっていた従業員の交流企画への補助制度を復活させることもできました。分会の構成は40代前後が少なく親子ほどの年齢差があることから、月1回の分会会議を丁寧に行くと同時に本音が出し合える交流の場も大切にしています。8月には交流会補助制度を活用して、矢田川の花火を見ながらバーベキューを楽しむ交流会も行いました。

分会のモットーは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」仕事もキツリやろうです。松本さんは今後の課題について「魅力ある組合活動の探索」と語っていました。

負けたら会社の弁護士代も!

敗訴者負担制度ってどんなもの?

司法制度改革の議論が活発化していますが、そのなかで「敗訴者負担制度」導入の動きが急浮上してきています。二つしたなか、この問題を考える懇談会が8月29日、名古屋市中区の伏見NPOセンターでおこなわれ、約40人が参加しました。懇談会では萩原典子弁護士が1時間程度講演、そのあと質疑、討論がおこなわれました。

「敗訴者負担制度」とは、訴訟を起し、裁判に敗訴した方が勝訴した方の弁護士費用をも負担する

というものです。これが導入されると普通の市民事件(医療訴訟や消費者事件など)では、いまでも勝訴の見込みが困難な事件が多いのに、そのうえ敗訴者負担制度が導入されれば、訴訟そのものを起こすことをとりやめざるを得なくなり、このことは労働裁判も例外でなく、裁判費用の負担は重く労働者にのしかかるといえます。

政府の司法制度改革審議会は、この制度の導入について「訴訟を起すことを萎縮(いしく)さ

せる場合には導入しない(最終報告)としていますが、しかし審議会委員の中には強引に導入を主張するものもあり、最終的な結果は予断を許さない状況になっています。

裁判を起すのは本来、国民の権利であり、「敗訴者負担制度」はこれを萎縮させたり、抑制することになります。労働組合・労働者の側からみれば、会社には都合がよく労働者に不利な制度になることはまちがいがありません。

懇談会は最後に、導入阻止のための署名行動の展開や、学習会を大きく広げる、また本日の懇談会の名で、政府に対する抗議文を送付することなど、当面の行動を確認しました。



「このまま司法は死んでしまうのか」と萩原典子弁護士

起すことを萎縮(いしく)さ

おやまほす

NO8 通信労組

単身赴任で名古屋へやって来ました。NTTは今4月から、50才になると退職して会社への転籍か、退職しないなら広域移動と職種転換を迫る事実上の50歳定年制を一方的に強行しました。このもとで、新しい仕事に苦しみ自殺する労働者が

「子どもが大学生で、大幅な賃金ダウンに伴う転籍は経済的に厳しかったし、NTTの身勝手なやり方は許せなかった」と森岡さんは通信労組高知支部の委員長ですが、この配転にはNTTの組合つぶしの意図も見えてきます。これに対し、秋には遠距離配転と組合つぶしを狙った不当労働行為で名古屋地裁と高知地労委に提訴します。「地元に戻ってもの仕事がしたい。技術や経験を生かし、労働者が働きがいを持つて働くことにこそ企業の未来があるのでないでしょうか。」

高知に戻って 技術と経験を生かしたい



森岡 幸一さん
通信産業労働組合愛知支部 (高知支部委員長)

と、森岡さんは転籍を拒否した訳を語ります。森岡さんは1967年に、市外電話網の通信設備建設やメンテナンスを行う技術者として入社。配転前までの3年間は通信設備建設の施工・管理を行い、下請会社からも信頼されてきました。し

革新県政の会が 会場調査を実施



中央の空き地上空をゴンドラが通過。右側には住宅地

愛知万博まで1000日を切り、主会場となる青少年公園周辺は東部丘陵線や名古屋瀬戸道路などの建設ラッシュとなり、山は削られむき出しになり、橋脚が乱立し、たくさん大型重機でものしい雰囲気です。8月23日、革新県政の

会は万博会場予定地や自然環境や住民との矛盾を上げている関連工事を調査しました。

昨年12月に突然、基本計画に盛り込まれ住民を驚かせているのが青少年公園と海上の森地区を空中で結ぶゴンドラ計画です。「住環境を問答無用で壊されるのは人権問題。必要なアセスメントもしていない」と、ゴンドラが南側40メートル程の上空を通過する瀬戸市上之山3丁目町内会は計画に反対しています。「お客さんには前を向いてもらう」と博覧会協会は説明。まったくあきれてしまいます。採算計画もムチャクチャで、建設費は50億円ですが、入場制限のある海上の森地区



東部丘陵線の工事現場

に入れるのは150万人。すべての人がゴンドラを利用したとしても採算は取れずに赤字です。さらに、たった6ヶ月の万博開催中のみの仮設で、終われば撤去されるムダ使いです。

「自然破壊、人権、採算無視であることがはっきりした。04年のパリ博は中止を宣言した。愛知でも知事選に勝利して」と参加者は語っていました。

愛知万博

プライバシー丸見え 採算無視のゴンドラ計画